

山行報告書

作成:2013年6月13日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	寧比曾岳	目的[方法]	新人研修 親睦山行
期間	2013年6月9日(日)	形態	日帰り/ピストン
参加人数	5人		

行動記録:

龍溪院(8:10)=足助(9:30-9:40)=33号線経由=大多賀峠(9:05)=0:15=段戸湖きららの森Ⓧ(9:20-9:45)-五六橋(10:05)-東海自然歩道入口分岐-0:55-休憩(10:50-11:00)-0:55-富士見峠(11:55-12:00)-0:20-寧比曾岳(12:20-13:05)-0:55-休憩((14:00)14:05)-0:55-段戸湖きららの森Ⓧ(15:00-,15:20)=0:25=百年草(15:45-16:50)=0:35=龍溪院(17:25)着

概念図:



日誌

きららの森Ⓧを出発し 広めの空き地の横を過ぎ(使用不可のトイレあり)車止めゲートの脇をぬける

五六橋までは車も通れる林道で出来山への登山道分岐を東海自然歩道の方へ入る。この辺りは段戸モミ、ツガ植物群落保護林で 20mを超す高木が多くちょうど緑の盛りの中、緩やかな登りが続く。ハルゼミやカエル、ミソザイの声を聞くブナなどの原生林は心地良い。足元には白い銀竜草も見られた。道中は狭い所でも 80 cm 以上はあり歩き易い道だが 何箇所かカンナガキイムシの駆除用のシートに覆われた倒木があり気になる。林道と交差する地点があり さらに傾斜の緩い道を進むとあと何キ口の案内板と共にベンチの置かれた休憩場がある。この辺りからは杉の植林と大人の背丈ほどのクマザサの道になり さらに小さな沢を 2.3 渡ると 尾根道をいっきに登る階段が富士見峠まで続く。今まで緩やかだった分 足に負担を感じた。富士見峠は名前の通り茂みの向うに富士山が見える場所だが木が茂っている。そして何とここにトイレがある。再び緩やか道を 20 分ほど進むとあづま屋の屋根が見え いよいよ頂上である。

穏やかな稜線が幾えにも重なる風景が広がる山頂にはテーブルとベンチがあり 20 人程が座れる。お天気ならあづま屋からも富士山が見えるそうだ。帰路は同じ道を帰ったが往路時にややきつかった富士見峠までの登り階段を いつの間にスムーズ下り、一度休憩を入れた後、らきららの森Ⓧまで帰った。この日のお天気は一日中薄曇りだった。

感想

カンナガキイムシが気になり後で検索したところ 5 mm 程の筒状の虫で広葉樹に寄生し立枯れさせる、特にブナ科のナラ類ミズナラやコナラに被害が多い とあり 豊かな水源地の森の異変を肌で感じた。秋の赤や黄色に染まる広葉樹の森を見てみたいと思った。親睦山行でワイワイと遠足のような楽しさで話をしながら聞きながらの登山も良いものだった。

その他、コンビニは香嵐渓Ⓧ入口手前までに寄っておく。きららの森駐車場は 30 台程度駐車可、トイレあり無料。段戸湖ルアーフライ管理釣りは一日 (大人)3000 円。百年草は入浴 200 円(受付 16:30 まで)美味なウインナーあり(16:00 まで)

参加者名